

山梨県

土木系技術公務員について

やまなしインフラの魅力



@yamanashi.kendo_
mirai



都市計画道路 田富町敷島線 (甲斐市)



富士北麓浄化センター (富士吉田市)



(主)市川三郷富士川線 富士橋 (新橋、旧橋) (富士川町)



荒川 千松橋上流 (甲府市)



富士川クラフトパーク (身延町)



砂防堰堤 中の入沢 (甲州市)

山梨県 県土整備部

○政策立案

政策や施策などを専門的知見で立案する

○建設事業のマネジメント

関係者と調整により事業を円滑に遂行し、公共土木施設を建設する

○公共土木施設の管理

建設した公共土木施設を適切に管理する

○スケールが大きく

仕事の結果が「目に見える形」で現れる

都市計画の策定やその実現に向けたまちづくり（景観も含め）

リニア中央新幹線開業を見据えた高速交通網や道路ネットワークの強化

○企画・計画から管理まで全ての仕事ができる

社会資本整備の企画・計画

事業実施（予算確保 事業評価）

公共土木施設の建設（設計 契約 施工管理（監督））

維持・管理

○公共のための仕事である

利益ではなく公益の追求

県民・住民が望む（喜ばれる）事業の実施

○社会に貢献できる充実感が大きい

地域の活性化

自然災害から人命や財産を守る

安全で安心な暮らしを支える など

豊かな暮らしを実現するための施策に参画

主な業務の流れ

要望

計画

測量・設計

用地交渉

施工

維持管理

1. 要望

市町村や地元より、改善して欲しいなどの要望や陳情
道が狭いので拡幅してほしい

2. 計画

要望や陳情に対して、対応策などを概略の計画立案
解決策

山側へ広げる？ 河川側へ広げる？ 他の方法はないか？

制約条件

山が急峻で影響が大きい 河川が景勝地となっている

↓ 最善の解決策を見いだしていく

河川に橋梁を架けて、対岸へバイパスを作る



現状

3. 測量・設計

概略の計画が決まったところで、地形測量等を実施し、詳細な設計へと進む

測量については、測量会社に委託
地質調査については、地質調査会社に委託
設計については、コンサルタントに委託

委託の発注 積算→発注→監督→検査→完成

(委託) 監督業務

設計計画する現地の立会い

受注者との打合せ（詳細ルートや工法の検討など）

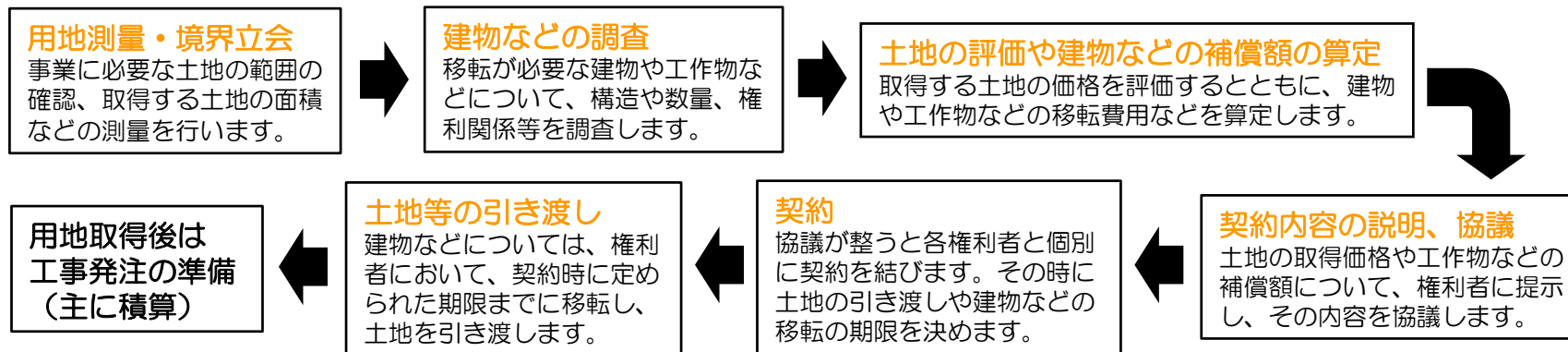
委託業務の精算及び検査



計画平面図

4. 用地取得

詳細設計完了後、用地取得が必要な場合は地権者と用地交渉の実施



※ 用地取得は、用地担当者と協力して行っていきます。

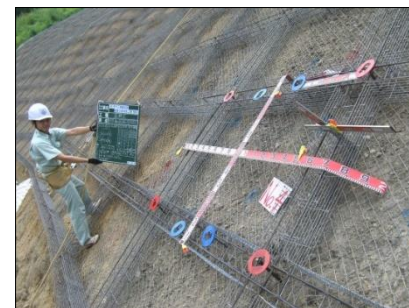
5. 施工

工事を発注する
施工業者が決定後、工事の監督業務を行う

監督業務（積算→発注→監督→検査→完成）

関係機関との協議・調整 工事進捗状況の確認 段階的な現場立会い（段階確認）

工事の精算（変更内容に関する積算） 工事完成検査 供用開始手続き など



6. 維持管理

工事完成後、構造物や道路の維持管理業務を行う



山梨県県土整備部の組織



R5.4現在

県土整備部

本庁

11課 5室

県土整備総務課
建設業対策室
リニア整備推進室
用地課
技術管理課
道路整備課
高速道路推進課
道路管理課
治水課
下水道室
砂防課
都市計画課
景観まちづくり室
建築住宅課
住宅対策室
営繕課

建設事務所

4事務所 3支所

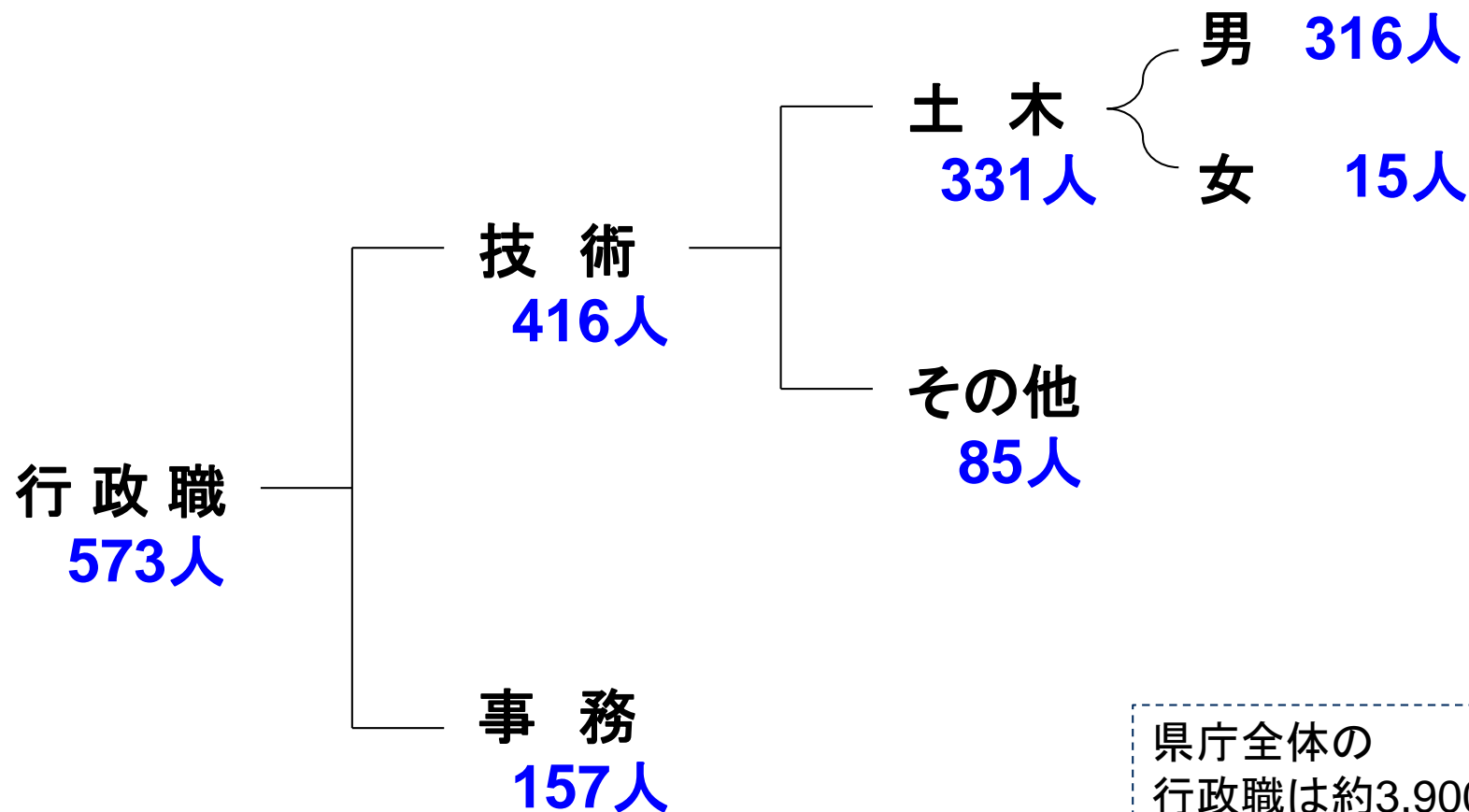
用地課
道路課
河川砂防管理課
都市計画・建築課

特設事務所

7事務所

新環状道路 ダム管理
流域下水 リニア用地

県土整備部の正職員数 (R5.12.1現在)



県庁全体の
行政職は約3,900人

山梨県職員採用試験 (大学卒業程度) 実施結果 (土木職)



	H30	R1	R2	R3	R4	R5
採用予定	16	16	8	14	5	9
受験者	21	28	15	20	13	10
1次合格者	18	23	15	20	11	9
最終合格者	11	16	10	17	6	7
倍率	1.9	1.8	1.5	1.2	2.2	1.4

- ・ 高速道路ネットワーク等の整備促進
- ・ 県内幹線道路ネットワークの整備推進
- ・ 市街地交通の円滑化の推進
- ・ 災害時の避難や救援等に備えた道路の整備
- ・ 水害・土砂災害対策の推進
- ・ インフラ耐震対策の推進
- ・ インフラの老朽化対策（長寿命化の推進）
- ・ 良好な景観づくりの推進
- ・ 安全・安心な道路環境の確保
- ・ リニア駅周辺整備の推進

重点施策の具体例

高速道路ネットワーク等の整備促進



山梨県の高速道路の状況



中部横断自動車道と南アルプス眺望



富士川大橋(下部温泉早川~南部間)



中央道・小仏TN付近の渋滞対策
小仏トンネル付近(上り線)
別線トンネルによる渋滞対策



県際道路の整備促進
東富士五湖道路と新東名の
連結強化
⇒国道138号須走道路・御
殿場バイパスが2021年4月
10日に開通!

○中部横断自動車道の概要

- ①長坂~八千穂高原IC L≒34km
環境影響評価及び都市計画決定の手続き中
- ②南部IC~下部温泉早川IC L≒13.2km
2021年8月29日開通!!
これにより静岡~山梨間が全線開通!

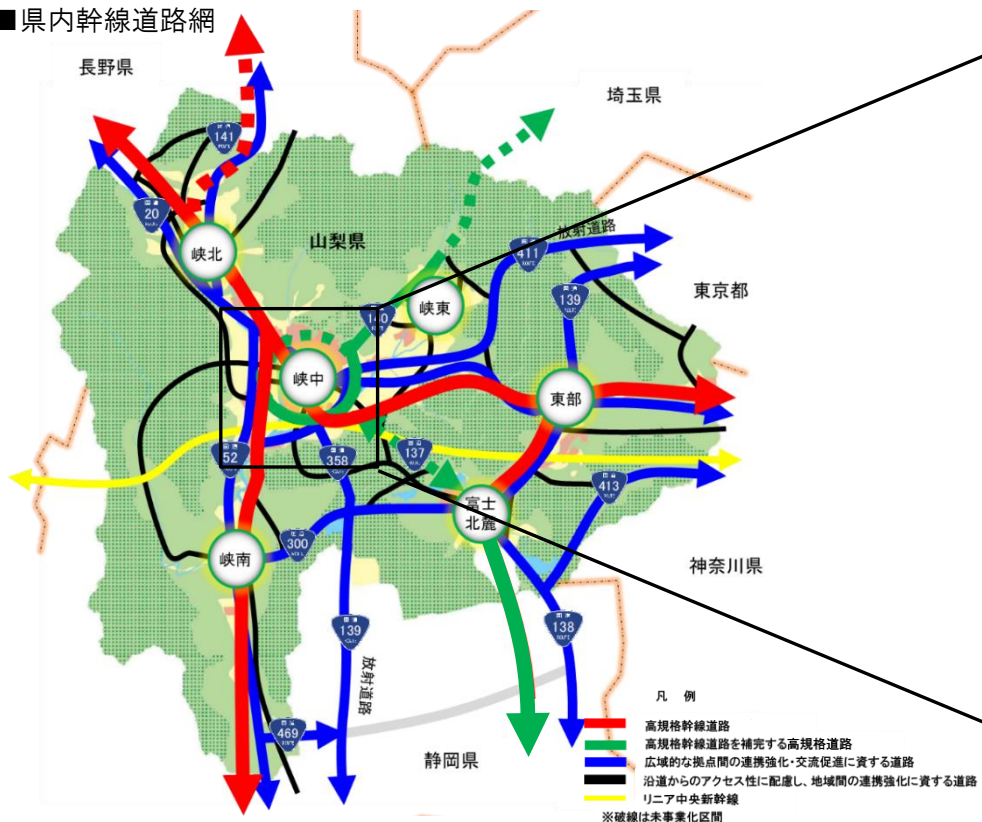
〈県の役割〉
国土交通省又は中日本高速
道路(株)と連携し早期整備を
実現させる

県内幹線道路ネットワークの整備推進

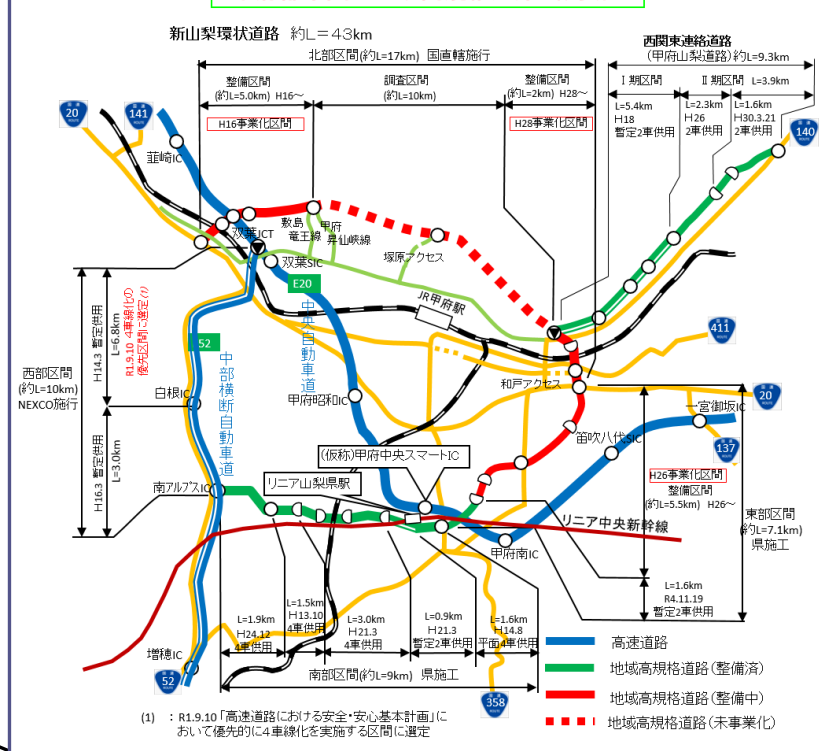


～県内拠点間を円滑に連絡し交流と連携の強化や利便性の向上につなげる道路ネットワークの整備・強化～

■ 県内幹線道路網



甲府都市圏の地域高規格道路 概要図



国道300号 中之倉バイパス



新山梨環状道路東部区間 穂池大橋



国道411号 上萩原バイパス



市街地交通の円滑化の推進

～地域間の連携強化やまちづくりのための道路整備の推進～

都市計画道路 田富町敷島線の整備

周辺道路の渋滞状況



竜王駅周辺の渋滞解消が期待されています。

整備済区間の状況



事業中区間の状況



災害時の避難や救援等に備えた道路の整備

～台風や地震時における電柱の倒壊による交通の遮断防止～



○事業概要

災害発生時の電柱倒壊により、救助や物資輸送を担う車両などの通行が遮断されないよう、道路上の電線類の地中化を推進しています。

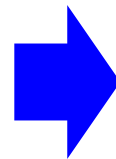
国道358号



甲府市上今井地内



(主) 甲府韮崎線



甲府市塩部地内



災害時の避難や救援等に備えた道路の整備

～緊急輸送道路などの防災危険個所の解消～



○事業概要

災害時に所要の機能が果たせるよう、緊急輸送道路や事前雨量規制区間の防災危険箇所の解消に重点的に取り組んでおり、落石、法面崩壊などの災害発生の危険性が高い、対策必要箇所の対策工事を推進しています。

国道358号

防災(法面)工事の推進 国道358号



整備前(被災時)



整備後



水害・土砂災害対策の推進

～あらゆる関係者により流域全体で行う水災害対策「流域治水」の本格的展開～



流域治水の概要

- 気候変動により想定を超える降雨が発生するなど、**水害リスクが増大**しており、これまで進めてきた河川整備だけでは、被害を防止することが困難となってきました。
- これまでの河川整備に加え、**河川の外で雨水の流出を抑制する対策や被害を軽減する対策を組み合わせ**た「**流域治水**」という考え方が必要となっています。
- 「**流域治水**」は、**流域のあらゆる関係者(行政、住民、企業)が協働し、対策に取り組むことが重要**となります。

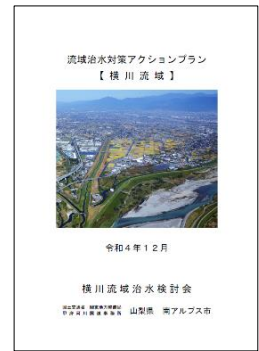
県の取り組み

- 流域治水の必要性の高い流域毎に**国・県・市町村の関係部局**からなる「**流域治水検討会**」を立ち上げ、効果的な対策等を検討し、アクションプランを策定しています。

流域治水対策のイメージ



流域治水検討会実施状況



流域治水対策アクションプラン

- 「流域治水」を推進するため、啓発グッズ作成や各種イベントに参加しています。



山梨県流域治水パンフレット

防災イベントでのブース出展



水害・土砂災害対策の推進

～ハード対策（洪水対策）～



河川改修【一級河川 鎌田川(富士川水系)】



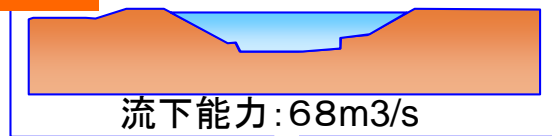
改修前



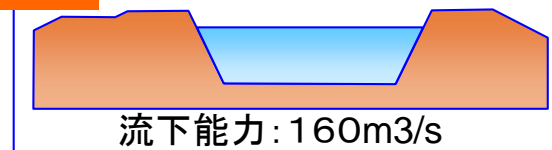
改修後



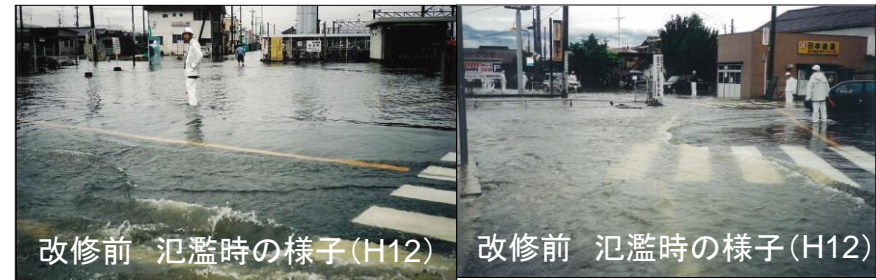
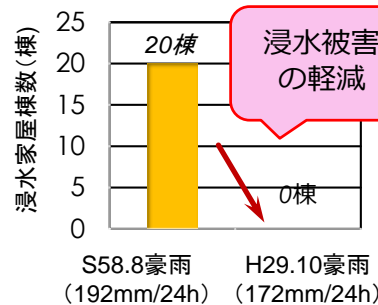
改修前



改修後



浸水家屋棟数

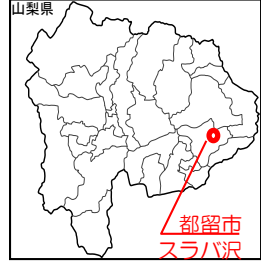


水害・土砂災害対策の推進

～ハード対策（土砂災害対策）～



砂防堰堤の整備（土石流対策）



H30.8 台風第20号による土石流

土砂の流出により、市道及び県道四日市場上野原線が被害。人家2戸が床下浸水の被害を受けた

- ・災害関連緊急砂防事業を実施
事業費：約1億9千5百万円

急傾斜地崩壊防止施設の整備（がけ崩れ対策）



H27.7台風第11号によるがけ崩れ

要配慮者利用施設に隣接する斜面において、幅26m・高さ14mにわたる崩落が発生家屋半壊1戸の被害を受けた

- ・災害関連緊急急傾斜地対策事業ほかを実施
総事業費：約1億4千7百万円

土砂流出下流端状況

崩壊地

透過型砂防堰堤完成

土石流氾濫想定区域

都留市道

要配慮者利用施設（保育園）

県道 四日市場上野原線

被害発生

【被災状況】

被害発生

【対策後】
鉄筋挿入併用コンクリート吹付法砕石による崩壊斜面の補強・復旧

災害における対応の他、危険な箇所におけるハード対策事業を計画的に実施している。

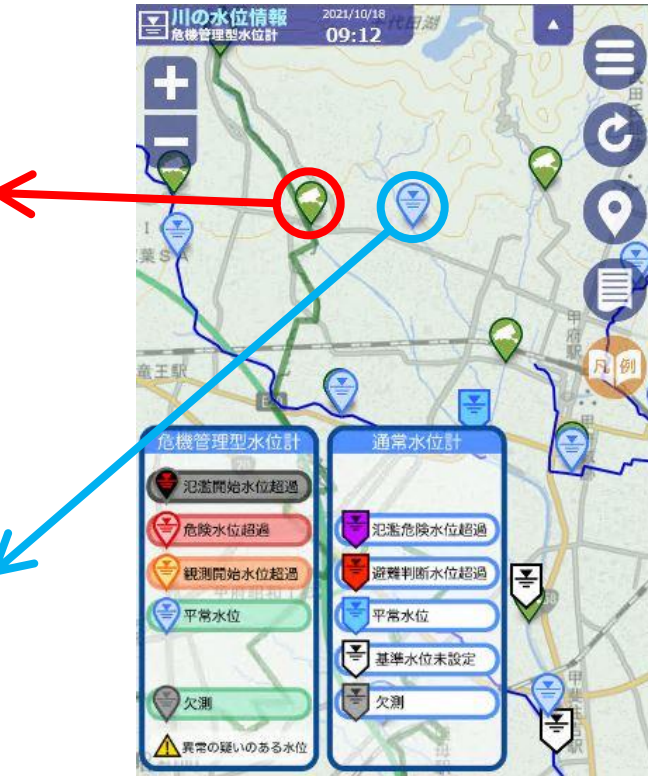
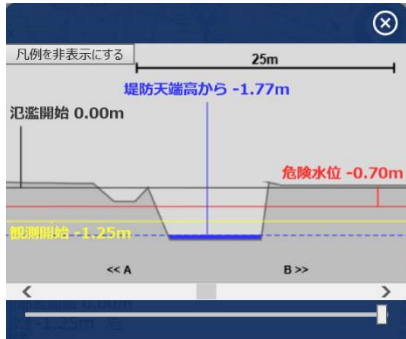
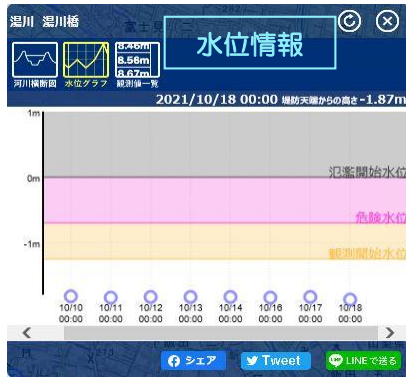
水害・土砂災害対策の推進

～ソフト対策（治水対策）～



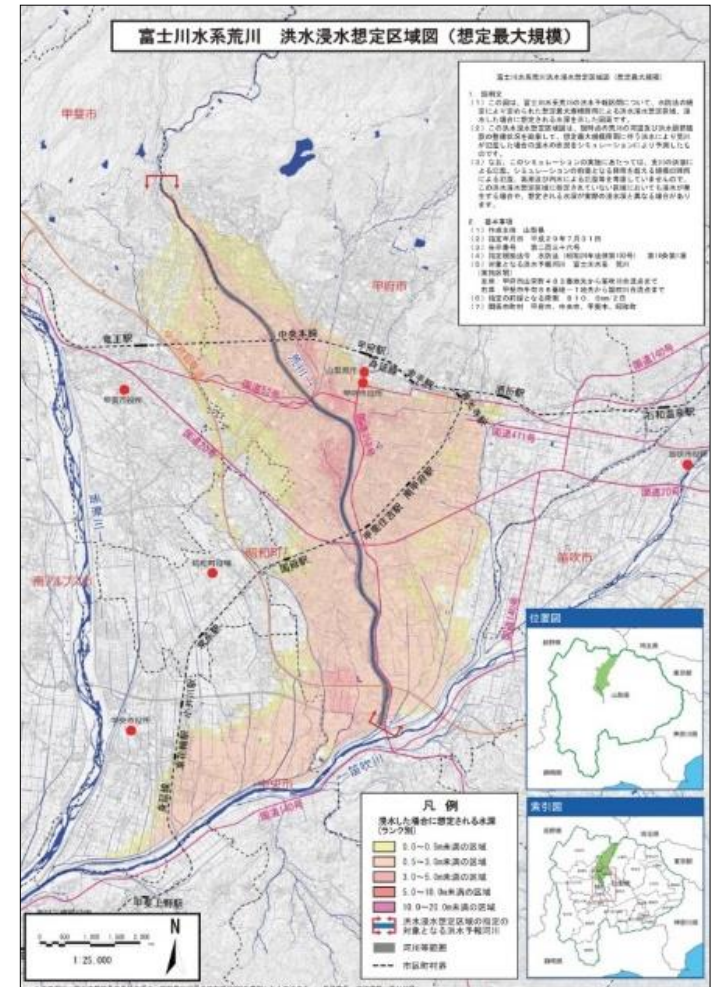
○河川情報のリアルタイム提供

身近な中小河川に設置した簡易型水位計と簡易型監視カメラの情報を携帯電話網を利用してインターネット上で一般公開



○水害リスク情報の提供

河川が氾濫した際に、浸水が想定される区域と浸水深、継続時間、洪水により建物が破壊される範囲を示した洪水浸水想定区域図を公表



水害・土砂災害対策の推進

～ソフト対策（土砂災害対策）～



○山梨県災害情報メール

気象警報・注意報、土砂災害警戒情報など、事前に登録された携帯端末に情報発信

○土砂災害警戒情報に関する緊急速報メール

土砂災害警戒情報発表時に対象市町村内の携帯端末に情報発信

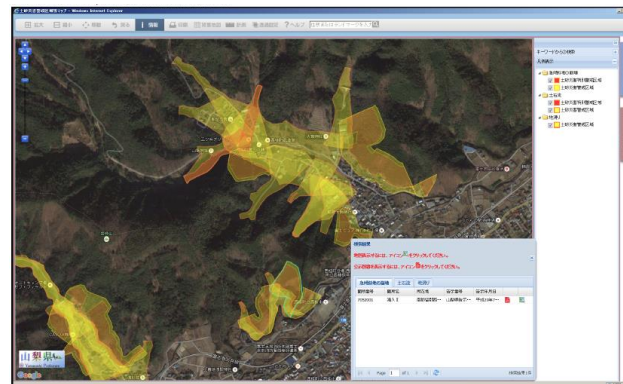


○土砂災害警戒区域等マップ

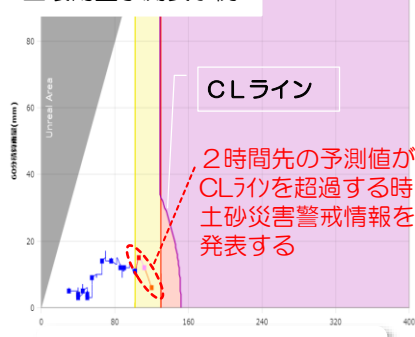
危険な箇所の調査を行い県ホームページに公表。市町村の作成している土砂災害ハザードマップの元となる情報

○土砂災害警戒情報システム

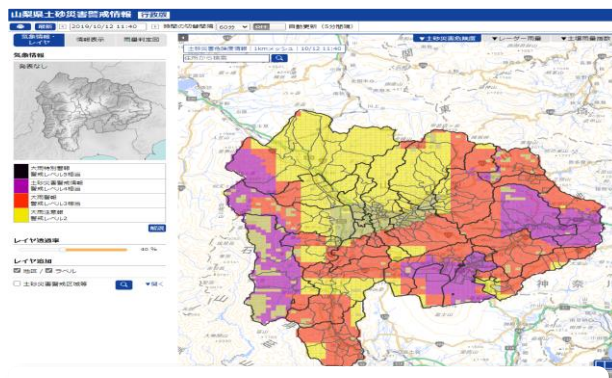
降雨の状況や予測により、土砂災害発生危険度の現在の状況や、将来の予測を1kmメッシュ毎に色分け表示、県ホームページやスマートフォンに提供



土壌雨量予測表示例



土壌雨量予測表示例



土砂災害危険度情報 1kmメッシュ

市町村	気象情報			土砂災害危険度情報*1	
	大雨特別警報・警報・注意報	土砂災害警戒情報	警戒レベル相当情報	危険度	警戒レベル相当情報
中北	甲府市	-	-	警戒	3
	韮崎市	-	-	危険	4
	南アルプス市	-	-	危険	4
	北杜市	-	-	危険	4
峡東	甲斐市	-	-	注意	2
	中央市	-	-	警戒	3
	昭和町	-	-	注意	2
	山梨市	-	-	警戒	3
峡南	笛吹市	-	-	警戒	3
	甲州市	-	-	危険	4
	市川三郷町	-	-	警戒	3
峡南	早川町	-	-	危険	4
	身延町	-	-	警戒	3
	南都町	-	-	警戒	3

市町村ごとの危険度情報

危険度等の情報を提供することにより、住民や市町村に対し適切な避難行動が取られるよう支援している。

インフラ耐震対策の推進

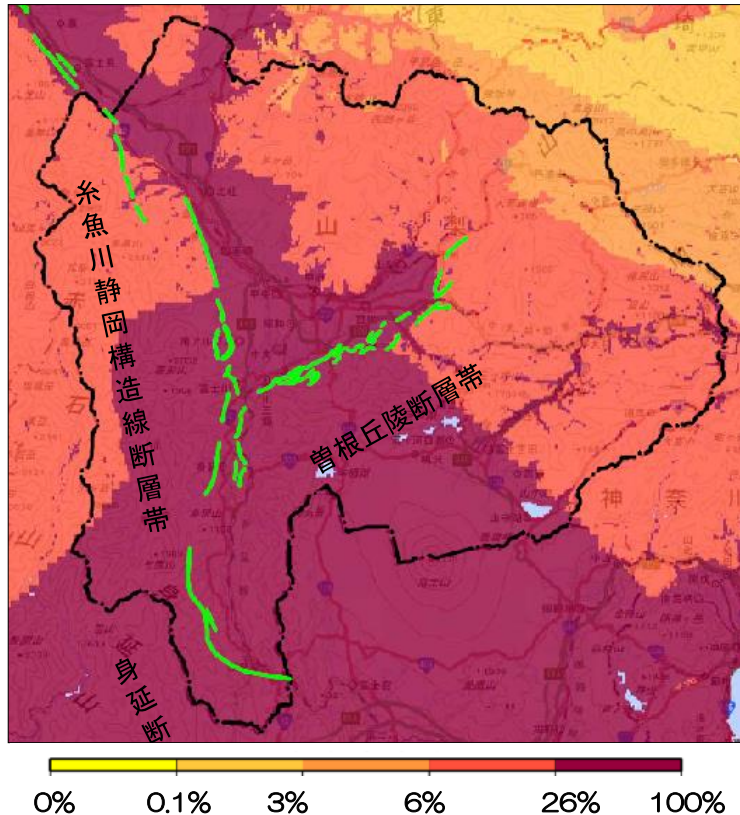
～大規模な地震発生時に通行を確保するための橋梁の耐震対策～



○事業概要

大規模な災害発生時に早期の救助・救援活動をはじめ、物資供給やその後の復旧活動等を支える、緊急輸送道路の橋梁の耐震化を進めています。

○今後30年間に震度6以上の地震が発生する確率



橋梁の耐震対策



阪神淡路大震災での被害



塩川橋 落橋防止装置

インフラ耐震対策の推進

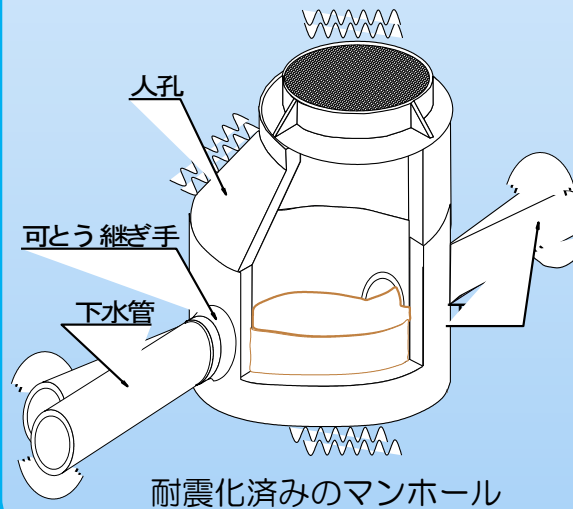
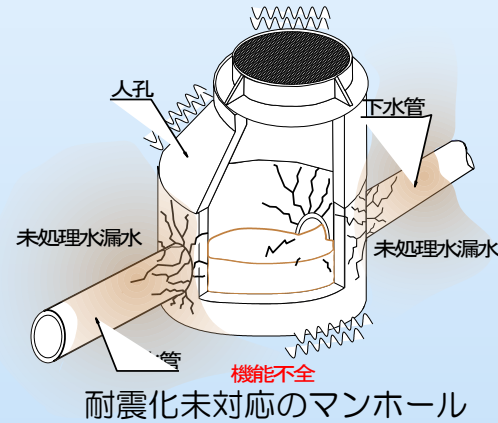
～下水道管路の耐震対策～

道路から隆起した 下水道マンホールの状況

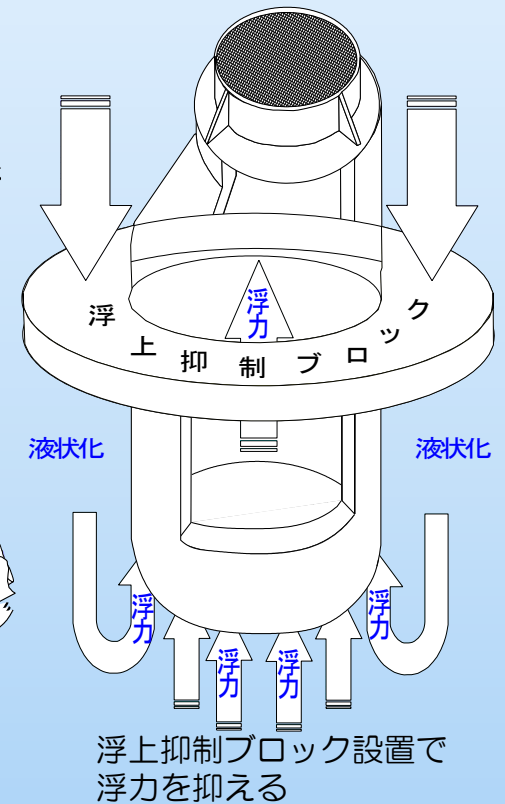


下水道管路耐震工事 の対策工法

既設人孔耐震化工法



マンホール浮上防止工法



インフラの老朽化対策（長寿命化の推進）

～老朽化が進んだ橋梁の長寿命化対策～



○事業概要

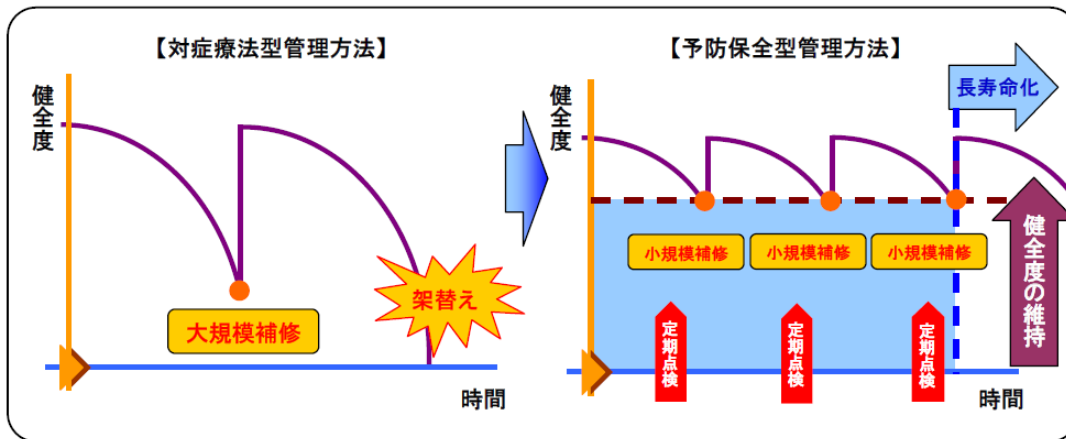
損傷が進行する前に早期に補修を行う予防保全型管理方法を実施することで、50年から60年と言われている橋梁の寿命を延命化させることで、長期的な維持・修繕、更新に係わる費用の縮減を図ります。

○これまでの補修方法



新たな管理手法へ転換

点検により橋面舗装の損傷を発見
損傷が進行する前に補修を実施



舗装下のコンクリートが劣化



悪いコンクリートを取り壊して



新しいコンクリートに



修繕工事の完成

インフラの老朽化対策（長寿命化の推進）

～下水道管路の長寿命化対策～



下水道管路更生 施工方法

流域管路の劣化状況



管路内の劣化状況



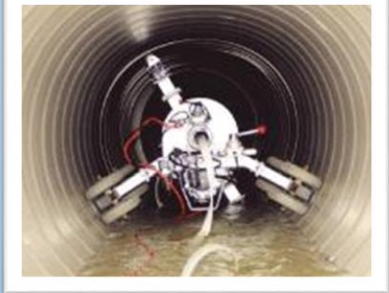
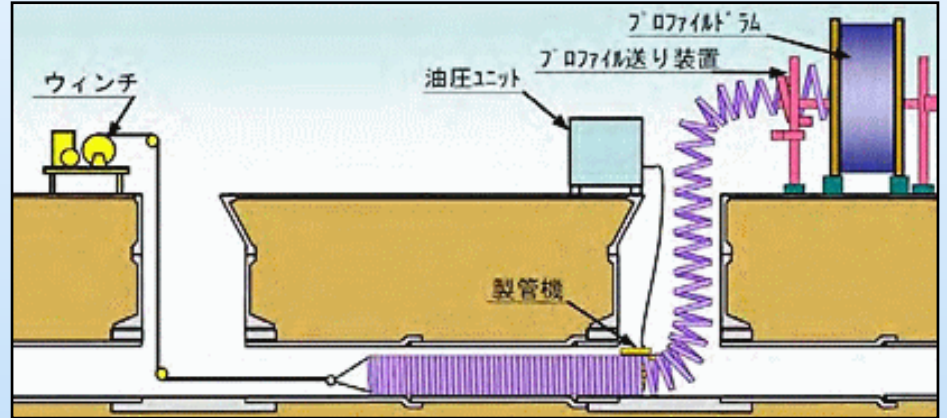
管路内の鉄筋露出

硫化水素等の影響によりコンクリートの劣化が促進され、管路の強度不足が生じる。



長寿命化対策方法

[施工方法・全景]



プラスチック材による既存管路の内面被覆

インフラの老朽化対策（長寿命化の推進）

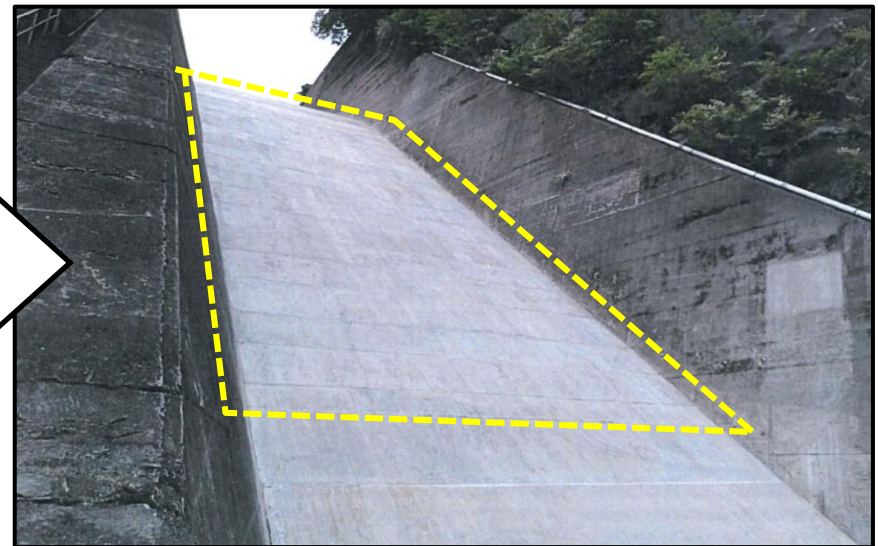
～河川・ダム の長寿命化対策～



○水門の扉体の塗装(南アルプス市,横川)



○洪水吐減勢工の改良イメージ(山梨市,広瀬ダム)



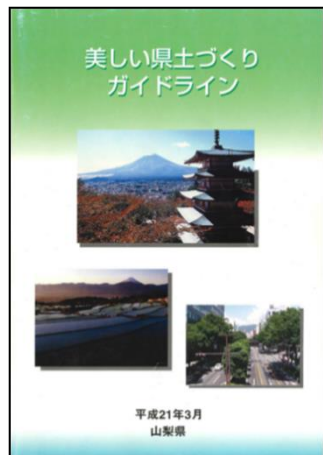
良好な景観づくりの推進

～魅力ある景観づくりの取り組み～



○県全体の景観づくりの方針の策定・誘導

県が「美しい県土づくりガイドライン」を策定して、県土全体の景観づくりの方針と施策の展開方策を市町村に示し、その方針に基づき、県内25市町村が、地域の特性に応じた良好な景観づくりを進める方針を定めた景観計画を作成しています。



美しい県土づくりガイドライン



25市町村が景観計画を作成

○広域的な景観づくりの推進

単独の市町村の取り組みだけでは解決できない行政区域を越える景観について、連絡調整する場として、景観行政団体連絡会議を組織し、広域的な景観づくりを推進しています。



甲州市フルーツラインから西側（南アルプス方面）を望む広域景観



笛吹市から北側（甲府北部火山地、八ヶ岳方面）を望む広域景観

良好な景観づくりの推進

～魅力ある景観づくりの取り組み～



○市町村と住民の景観活動への支援

住民主役の景観活動の輪が広がるよう、市町村職員や住民の景観活動への理解を高めるワークショップや講習会を開催しています。

また、参加者同士が、課題や悩みを共有し意見交換できるよう、やまなし景観まちづくりミーティングを開催しています。



重要伝統的建造物群
保存地区
(早川町 赤沢宿)



ワークショップ



講習会



やまなし景観まちづくり
ミーティングチラシ



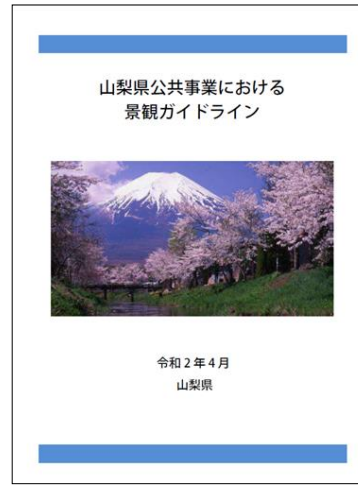
棚田の景観を守る活動



防護柵の塗替え活動

○公共事業を通じた良好な景観形成の推進

専門家からなる景観アドバイザーに意見を伺い、景観に配慮した設計を行うなど、良好な景観形成に取り組んでいます。



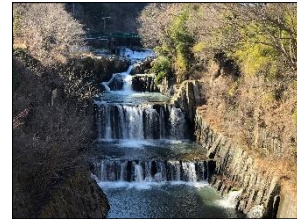
山梨県公共事業における
景観ガイドライン



電柱の地中化



東沢橋 (北杜市)



田原の滝 (都留市)



亀甲橋 (山梨市)



景観アドバイザー

安全・安心な道路環境の確保

～どこでも、だれでも、自由に、使いやすく～



○事業概要

誰もが安心して通行できるよう、幅の広い歩道の設置や既設歩道の段差解消の整備等により、歩道空間でのユニバーサルデザインに取り組んでいます。

(主) 韮崎南アルプス中央線



歩道のフラット化



○事業概要

通学路及び未就学児が日常的に集団で移動する経路等で、市町村や学校関係者、警察などと合同点検を実施し、重点的に安全対策を講じています。

(一) 島上条宮久保絵見堂線



通学路の整備



リニア駅周辺整備の推進



リニア中央新幹線山梨県駅(仮称)は、甲府市大津町地内に整備される予定です。
駅北側については、リニア開業の効果を県全体で享受するため広域的な交通結節機能を有する整備とし、県が担います。
駅南側については、地域の発展に直結するまちづくりであることから甲府市が中心となって進めていきます。

○リニア駅エリアの事業区分

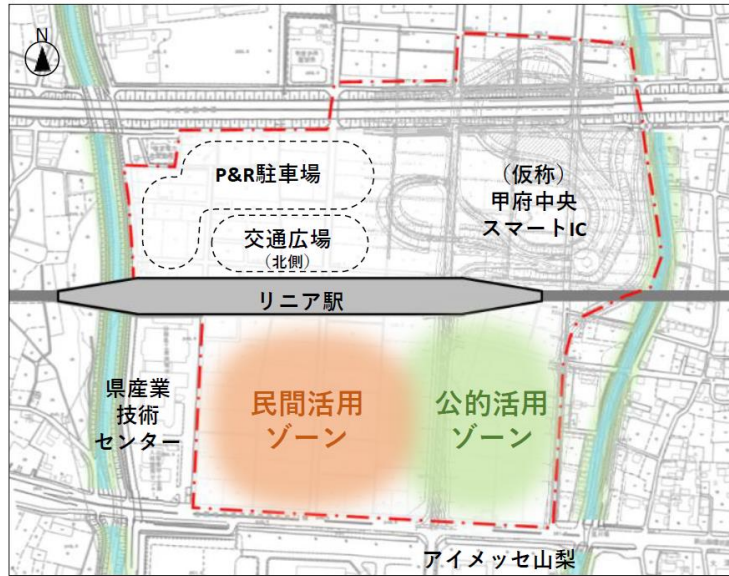
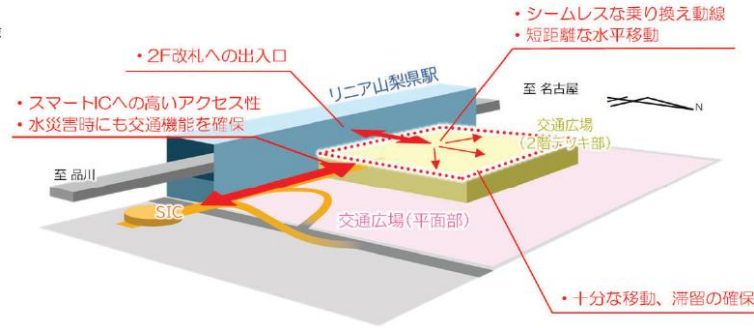


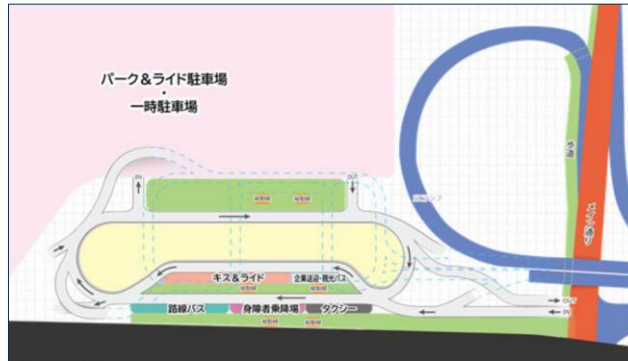
図 公的活用ゾーンと民間活用ゾーンのゾーニング例

(仮称)リニア山梨県駅前エリアのまちづくり基本方針(案)
(2023.8甲府市)より

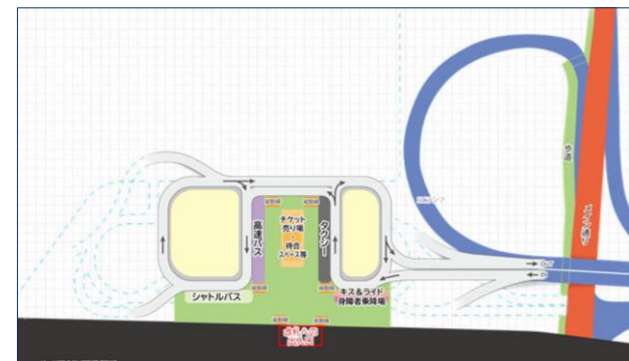
○北側交通広場整備の方向性



1F



2F



第3回リニア駅前エリア整備検討会議資料

- ・駅北側の交通結節機能は、スマートIC、パーク&ライド駐車場等を整備する方針
- ・駅南側は民間活用ゾーン、公的活用ゾーンを設け、具体的な土地利用や配置について検討していく。